

■ 研究実践指定校におけるオンライン学習実践の流れ

北海道鶴川高等学校では、事業実践事例に加え、次のような流れでオンライン学習の実践を行いました。

		研究実践指定校の実践内容	
オンライン学習の機器活用のノウハウ	授業準備	児童生徒への事前指導	○ 実際に機器の活用を通じて継続的に使用方法を指導した。
	オンライン学習の実践	接続 実施中の工夫	○ 機器設定を学校で行ったが、詳しい人がいないと非常に困難であった。 ○ Classi を利用した予習、復習、課題提示を行った。繰り返し組みたい生徒にとっては有効であった。 ○ オンライン学習で配信する際次のような点に注意して配信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配信の際、黒板を活用する際は青や緑のチョークは画面からの判別が難しい。 ・ 黒板を使用する場合は、通常授業以上に立ち位置や見え方などに配慮が必要である。 ・ 児童生徒へ指示や説明をする際は、前後の動きをすることで注目されやすい。 ・ Zoom のホワイトボード機能を利用する際は、背景を黄色にすると見やすい。
オンライン学習の効果的な指導方法	オンライン学習について	オンデマンドを効果的に組み合わせた学習展開	○ 授業動画視聴について、全員の取り組み状況を確認するまでにタイムラグが生じてしまった。
	指導の充実に向けて	その他	○ Zoom を利用した生徒会立会演説会、見学旅行説明会、模擬面接会、交通安全教室、生徒総会、インターンシップ交流会を実施した。。



○ インターンシップ発表会の様子

オンライン学習導入モデル事業実践事例

研究実践指定校 北海道江差高等学校

使用したアプリ：Zoom、YouTube、Microsoft Forms

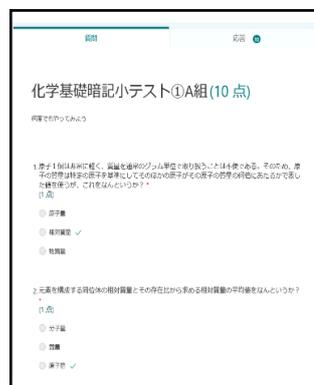
「ICT 機器活用のノウハウ」

- ① 機器活用の際の工夫
ICT 機器活用を一から学ばせるために、教員が作成したマニュアルを参考に、生徒自身で設定等を行った。
- ② オンライン学習実施の際の課題及び改善策
受講上のルールが課題であったが、教員2人体制で、配信主担当者と入室管理、出席管理担当で分担することで対応した。
- ③ トラブルとその対応
iPad 設定時の ID とパスワード管理について、教員側での指定・保管が必要であった。

「効果的な指導方法」



- ① 個別学習を意識した家庭学習システムの構築
 - ・ アンケートにおいて、生徒の希望が多かった数学を先行実施する形で、金曜日に今週の授業のまとめと週末課題を、火曜日には、週末課題の解説を Zoom で配信することで、一週間の学習リズムをつくることのできた。
 - ・ 模試後には、Zoom で速やかに理科や国語の振り返り講座を配信することで、生徒は次の講義を待たなくても復習をすることができた。
 - ・ 数学、国語、理科では、授業のポイント解説動画を YouTube で配信したり、理科では Microsoft Forms を利用した、定着度確認のための問題を提示したりすることで、個に応じた学習の体制をオンラインを活用して構築することができた。
- ② 授業における調べ学習や記録等での iPad の効果的な活用の体制
英語では英文を黒板に投影するなど視覚的に教材を提示、体育では生徒が自身の動作を撮影して確認、総合的な探究の時間では活動の記録などにそれぞれ活用した。



【Microsoft Forms を利用した化学基礎確認問題】

【 成 果 】

- 双方向と動画配信を用途に応じて使い分けるオンライン学習の体制づくりを確立した。
- 生徒の生活やニーズに応じた学習の在り方を検討し、より良い対応を行うことができた。
- 個に応じた学習への対応について、対面以外の効果的な方法のパターンを習得することができた。
- 事後のアンケートにおいて、「コンピュータやタブレットを使うことは、将来、社会に出たときに役に立つ」について肯定的な回答が有意に増加しており、多くの生徒がコンピュータやタブレットの活用の有用性を感じられたと考える。

【 課 題 】

- 生徒の生活実態を把握し、より一層きめ細かに個に応じた対応を行うことが必要である。
- ICT 機器も活用しながら、生徒の生活の中に家庭学習を定着させる工夫が必要である。
- ID、パスワードの管理等を含め、ICT 機器の操作やマナーの習得が必要である。

■研究実践指定校におけるオンライン学習実践の流れ

北海道江差高等学校では、事業実践事例に加え、次のような流れでオンライン学習の実践を行いました。

		研究実践指定校の実践内容	
オンライン学習の機器活用のノウハウ	授業準備	生徒への事前指導	○ 事前に初期設定マニュアルを作成し、生徒へ配付した。
		事前の役割分担	○ 配信には、授業者と補助担当（入室許可や参加者の確認等を担当）の2名で担当することにより、円滑に配信できる手法を確立した。
		実施日程・参加者の把握	○ 放課後にオンライン学習を実施する日は、午前授業で部活動のない日に設定した。
	オンライン学習の実践	実施中の工夫	○ ミーティング中の表示名をあらかじめ決めておくよう、ルールを設定した。 ○ 生徒の受講ニーズを探るため、アンケートを実施した。「都合の良い時間」「期待する内容」など。これらの結果を踏まえ授業内容を改善した。 ○ 1週間の学習サイクルにオンライン学習を位置付ける働きを行った。
オンライン学習の効果的な指導	日常の授業との関連	学習課題に基づく学習を主とした展開	○ （理科）「化学基礎」の問題を MicrosoftForms で作成配付した。 ○ （国語）テスト対策動画を配信した。
	オンライン学習について	オンデマンドを効果的に組み合わせた学習展開	○ 単位制課程の時間割変更が難しいため、Zoom の録画機能による事後視聴を実施。 ○ 動画配信後、Zoom によるオンライン学習実施という配信の流れが定着した。



○2名体制で配信している様子

○数学の学習を配信している様子

